東京都立練馬高校 同窓会会報

銀杏の朋（いちょうとも）

銀杏の朋 第10号
2003年9月15日発行
発行：東京都立練馬高等学校同窓会事務局
〒179-0074 練馬区春日町4－28－25
TEL 03-3990-8643
編集：銀杏会会報委員会

総会参加のお願い

銀杏会会長　伊藤久雄

今回の総会では以下の2つについて提案します。

(1) 卒業後10年以上経過した会員の方から、10年分の会費として2000円を徴収すること

(2) 会報「銀杏の朋」の隔年発行（2年に一度の発行）

詳細は総会にて説明しますが、要するにお金の問題です。毎年支出が約120万円、収入が90万円の現状では、2014年には手持ち資金がマイナスになり同窓会活動ができなくなります。収入をあと30万円増やせば収支がトントンになり、現在の活動を維持することができますが、収入のほとんど（約70万円）は新入会員費であり、現行の入会金3600円は一般の都立高校（5000円～6000円）より安いとはいえ、新入会員にばかり負担を求めるわけにはいきません。既卒会員にも応分の負担をして頂かなくてはなりません。それが(1)を提案する理由です。

また、そうはいっても、10年会費（2000円）は税金とは違います。払っていただくようにお願いはしますが、強制することはできません。どの程度集まるのか不安があります。そこで提案(2)になります。支出のほとんどは会報発行・郵送費（約115万円）ですから、2年に一度の発行にすれば仮に10年会費があまり集まらなくても活動を継続することができます。ただし、1年間のブランクで住所異動が把握できなくなるおそれがありますが。

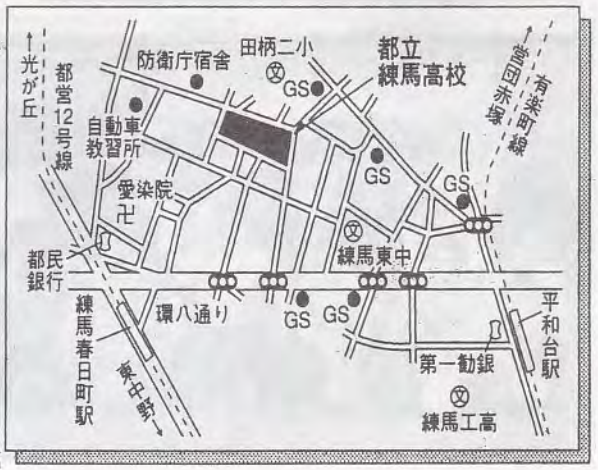
以上、今回の総会では重要な案件を決定いたしますので、万障お繰り合わせの上、出席してくださるようお願いします。

正門から見た校舎

'03年度同窓会総会（＆懇親会）のご案内

'03年度同窓会総会を下記のとおりおこないます。
総会での意見交換、執行部への質問等はもちろん
また、クラス会、同期会等にもお役立て下さい。

日　時：　2003年11月8日（土）
　　総　会　3 pm～4 pm
　　懇親会　4 pm～5 pm
場　所：　都立練馬高校 大会議室
会　費：　2,000円
議　題：　2003年度活動報告および2004年度活動方針
　　2002年度決算および2004年度予算の承認



温故知新

銀杏会会長
伊藤　久雄

日頃は本会の活動に対しましてご理解・ご協力を賜りまして、誠に有難うございます。

『銀杏の朋』も第十号発行の運びとなりました。これもひとえに会員各位のご支援のお陰と執行部一同、深く感謝しております。

この十年間を振りかえりますと、毎年の総会開催・会報発行、五年に一度の総合名簿の発刊、HPの開設、など、同総会活動の基礎となる部分については固めることができたと考えております。

今後はこの基礎の上に、①ホームページの一層の充実を図ること②文化的行事を開催すること③総会参加者を増やすこと、が重要な課題です。

執行部一同、相当の時間と労力をかけて同窓会を支えてまいりました。これからも可能な限り活動を続けていきますが、**正直言って、同窓会を維持するのは相当な負担です。是非この点を考えていただき、理事として執行部に参加するなど、より積極的なご支援を切にお願いします。**

今回の総会では以下について決定する予定です。どうか多数の方に参加していただき、活発なご意見をいただければ幸いです。

①卒業後十年以上経過した会員からは十年会費として二千円を徴収する。
②経費節約のため、会報発行を隔年とする。

練高創立四〇周年

都立練馬高等学校校長
苗村　深

同窓生の皆さん、日頃より母校の教育活動に対し、ご理解、ご支援、ご協力いただき感謝申し上げます。

本校は今年で創立40周年を迎えます。昭和39年1月1日付で初代校長鈴木満令先生に辞令が交付され、4月10日に第1回入学式が第四商業高等学校講堂を借用して行われました。その後二年間は第四商高の校舎を借りての授業でした。この年10月、東海道新幹線が開通、東京オリンピックも開催されました。いわば高度成長と同時のスタートでした。

（私事ですが、私もこの年高校に入学しました。また、初年度から4年間勤務した国語の小田川兵吉教諭は私の義兄です。）

校舎の完成は41年3月末、第1期生は3年生でやっと自前の校舎に入ることができました。

創立以来、一一三九四名の卒業生（皆様方）を世に輩出してきました。

今年は、特に女子バスケットボール部が頑張り、春の大会で一部に昇格しました。（加盟三五〇校中16校が一部、都立は本校と駒場高校の2校のみ）

他の部活動も刺激を受けて活発に活動しています。今後も皆さんの温かいご支援をよろしくお願いいたします。

二〇〇二年度役員一覧

名誉会長　苗村　深（母校校長）
会　長　伊藤　久雄（77年卒）
副会長　加藤　佳美（79年卒）
会　計　宮坂　由子（72年卒）
書　記　川島英無礼（93年卒）
理　事　川島恵美子（68年卒）
理　事　小菅　英明（73年卒）
理　事　三浦　喜雄（75年卒）
理　事　小沢　直彦（75年卒）
理　事　矢野　正弘（77年卒）
理　事　山本　圭一（94年卒）
理　事　宮鍋　和美（94年卒）
理　事　大沼　治男（96年卒）
理　事　米山あゆみ（95年卒）
会計監査　近藤　邦夫（73年卒）

同窓会クラス幹事（二〇〇二年度卒業生）

組	1	2	3	4	5	6
男	冨田　祐輔	髙橋　厚	染谷　雄一	佐藤　洋旗	平岡　司	熊川　裕紀
女	大和田　藍	黒明さやか	今井　紀子	新國　香奈	坂神　希望	田中　智美

クラス写真

サッカー部写真

卒業生からの便り

国語、有難う？

2回生　1968年卒・5組
角野（野島）美砂子

練馬高校に通っていた頃を思い返しますと、自分の中では、ついほんの数年前のような気がしますが、実際に指折り数えるその多さに改めて月日の経つ早さを思い知らされます。

今我が家の二人の息子も29才、27才の青年となり、主人はマレイシアで単身赴任生活を送り、そして私は有り余る自分の時間を得ています。

五年ほど前、所沢市の点訳講習会に参加し、その後さらに勉強したいと高田馬場の日本点字図書館での講習終了後、（その時点で簡単なテストがあるのですが）2年間の通信教育を経て同館所属の点訳ボランティアとなりました。最初は手で点字を打っていたのですが、図書館の依頼の点訳からはパソコンでの入力になりました。今まで手にしなかったジャンルの書物、ベストセラーの物等の点訳が面白く日課になっている程です。今年の5月からは同館に厚生労働省から委託されている図書のパソコン入力を担当する事になり、責任を感じながら作業をしています。

この奉仕が出来るのも唯一つ自信のあった学科、国語の力のお蔭かと思いつつ、長谷川先生、角田先生に感謝しております。

志賀高原の想い出

7回生　1973年卒・7組
佐藤（福井）克子

今、三十年ぶりに高校生活を振り返ってみると、数え切れない程の思い出が甦ってきます。その中でも一年生のときに行った林間学校では複雑な思いをしました。志賀高原の夜空は都会とは違い、輝く星空はとても美しく、私たち乙女をロマンチックな気分にさせてくれます。キャンプファイヤーを囲んで歌い始めると、感極まって涙を流す女の子がたくさんいるではありませんか。そこまでなれなかった私は、その光景を見て、羨ましく思う反面、少し冷めた目で見ていたような気がします。そして、翌日は、フリートーキングが行われました。私たちのグループは「勉強について」というやや固い題材でした。この題材では、予想通りに活発な意見交換もなく、重苦しい時間だけが過ぎていったことを覚えています。他のグループは「愛について」とか「男女交際について」とか、もっと取り組みやすいテーマを選んで真剣に話し合い、充実した時間を共有できたそうです。でも勉強についての討論は私にとって興味があったので事前に話の内容を整理して意見が言えれば、皆さんに熱心さだけは伝わったかもしれません。悲しくもあり、苦しくもあった思い出深い三日間でした。それ以来、自分を変えるために、積極的に意見が言えるように努力しつつ高校生活を過ごしました。その時に得た友人は、現在も話ができる間柄であり、父の介護に奮闘中の私にとって、その友人とのおしゃべりはストレス解消の唯一の方法となっています。

18年ぶりの再会

11回生　1977年卒・1組
小野（片野）美鈴

昨年の秋、練高11期生の初めての同期会がありました。卒業してから25年もの月日が経っていました。高校卒業以来もお付き合いをしている友人達と3人で出席する事が出来たのですが、私はこの同期会でもしかしたら会えるのでは…と期待をしていた、とても会いたい友人がいました。その彼女と私達は同じ体操部で、高校生活で一番多く同じ時間を過ごし、思い出を作った仲良し組みでした。

卒業してから7年位は連絡を取り合い会ってもいたのですが、それぞれが出産、育児と忙しくなりいつのまにか彼女だけ連絡が取れなくなってしまいました。それ以来18年、どうしているだろうという思いはいつもありました。同期会当日、彼女は欠席でした。でもそこで私達は彼女の近況を知ることが出来たのです。同期会の出欠の連絡に住所・コメントなどをまとめ資料にして配って頂いた中に、彼女の名前を見つけました。元気なんだ～ってすっごく嬉しくて…！その後、すぐに連絡を取り18年ぶりに念願の4人で再会する事が出来ました。ほんとうに出席して良かったです。これからはまた4人で会えます。実行委員の皆様にとてもとても感謝しています。素敵な再会を有難うございました。

友人との楽しい思い出

30回生　1996年卒・3組
高崎　恭子

私にとって楽しい想い出と言えば誰しもがきっと言うであろう修学旅行。私達の学年からスキー教室以外に長崎への旅行が修学旅行になり、体の弱い私は関節痛の為スキーには行けなかったからである。

旅行は平戸へ行ったりハウステンボスなど、船にも乗り船酔いして着いたハウステンボスのクラス写真の私の顔は笑えるかも知れない。宿での女子は大騒ぎで他のクラスの友人も部屋に来たりゲームやテレビを見ていたのを想い出す。夜、見回りの先生がいなくなったのを確認し話し出し翌朝は寝不足になったものだ。旅行からの帰りは格別で失くなってしまう寝台列車からの星の綺麗さ、星好きの私は眠くなるまでずっと見ていた。高校三年間の想い出の中で一番はこんな理由で修学旅行である。

卒業し早八年、今でも友人との集まりはあり、話す事は今現在の事はもちろん、高校時代の話しで盛りあがったりする。これから先も、高校時代からの友人と楽しく過ごして行ける日々を願う私、今年二六才である。何か悩み事などあった時は、メールなどで相談する事もあると思うんで、そんな時はよろしくお願いね？　私の大事な友人達へ。

From the Teachers

私の活力源

理科　上原　勉
在職（S47～S55）

定年退職してから十二年経過しました。旧友に会うと定石のように聞かれることが二つ、それは、①元気か、②いま何をしている、です。

私は毎朝近くの公園で十分間のラジオ体操、その後三時間かけて朝刊三紙の比べ読み、一日一回は厨房係、それに一日五千歩目標の速足散歩、これが日課です。また週末土曜の夕刻には東久留米の禅寺での坐禅（毎回二時間坐る）が私の生活実態です。近年は次に述べる二つのボランティアを始めました。

その一つ、都内某区の子供サイエンスクラブの指導です。（対象は小中学生約三十名）土曜日の午前九時から十二時までの三時間、学校で習わないサイエンスの実験指導です。（数人のボランティアが分担）私の分担は年間数回で次のテーマでやっています。①雨粒の実験　②墨流し実験　③水中の微生物　④花粉の実験　⑤石神井川の動植物　等々です。

もう一つのボランティアは、高校NIE（Newspaper In Education の略号：教育に新聞を）のアドバイザーです。高校の先生が授業で新聞を活用して指導する時の助言です。

若者の活字離れを心配した新聞関係者と情報教育に新聞を活用したいと考えた教育界の両者が共鳴の形で実現した活動です。私は新聞社と高校の先生との接点に立ち、両社のアドバイス役をしております。要請に応じて出掛けますが、かなり多忙です。東京中心の活動が、今では全国規模に発展してきました。この二つのボランティアが私の活力源です。

熱き戦い今なお続く

体育科　平山　隆造
在職（S50～S58）

練高＝ねりたか＝の響きは、授業にも、クラスにも、クラブにも全力で打ち込んでいた頃の恐らくは今の十倍は動き回っていただろう快い疲労感が沸々と蘇ってくる。

一日の授業四時間で腹筋八〇〇回、腕立て五〇〇回、二十キロ走、何人死にそうになったことか。

修学旅行での夜を徹しての『仁義無き闘い』…。（今の子供たちに比べればよっぽど仁義はあったけどね）それでも快感だったんだよなぁ。

そして、サッカー部で得られた勝利への緊張感、勝利の快感は何よりも代え難い感情として、今も連綿と追い求めているものであり、部員の離脱や思わぬ敗戦の挫折は求道者にとっての糧となって今日の私がある。

とくに昭和五四年からの四年間は部員にも恵まれ、あと一歩が何度あったことか。若げの至りと言ってしまえばそれまでだが、今の自分ならこうすると時折夢にまで出てくること多数、懺悔…。

「練高の魂」が肥しとなり、幾許かの栄光の兆しを垣間見ることはできたが、栄光を摑んだわけではない。

髪白く、顔益々赤く、骨太否肉太となり『どっこいしょ』は増えたが熱き闘いは今尚続いています。

あの頃の練高（ねりたか）…

美術科　佐藤　清親
在職（S60～H8）

私が練馬高校にお世話になったのは昭和六十年からの十二年間で、時代も平成に変われば、全面改築でプレハブ校舎、そして新校舎に変わる。制服も教育課程も大きく変わるという、まさに変動の期間でした。

その後、三宅高校に異動し、二年後王子工業高校定時制教頭、さらに二年後には北豊島工業高校の全日制教頭、そして一年九ケ月ほどで現在は小石川工業高校の校長として勤務しています。私にとっても、この七年間は五つの高校を渡り歩く激変の期間でもあり、また自宅も三回程転居したため卒業生の多くとは音信不通となっています。紙面をお借りしてお詫び申し上げます。

さて、練高時代の最大の思い出と言えば、美術部による文化祭アーチ造りでしょう。これだけは旧校舎から、プレハブ校庭側臨時門時代、一年間の（裏）門時代、そして新校舎と十二年間継続して美術部の制作を指導しました。とにかく、その大きさと真夏の酷暑の中で延々と続く制作には、参加した美術部の生徒共々「あれだけ辛い仕事をしたのだから」と多少の辛さなど乗り切る根性が身に付いたことと思います。今となっては忘れられぬ、良い思い出です。

心のふるさとへ

数学科　古川　直樹
在職（H1～H8）

久しぶりです。私は平成元年から教諭になりました。その初めての学校が練馬高校でした。強制異動になるまでの八年間勤務しました。

異動してからまだ六年しか経っていないので覚えていることはたくさんあります。平成元年当時は改築のため旧校舎が取り壊され、プレハブ校舎になっていました。

平成三年度は転機でした。この年度から一クラス減り七学級になりました。生活指導も厳しくなりました。数学で初めて習熟度別授業が始まったのもこの年度です。

平成六年度からは授業内容が大幅に変更になり、大幅選択制が導入されました。ちなみに、今はもう存在しない幻の講座として、平成八年度のみ開講された『情報Ⅱ』があります。都立高校の統廃合が進む中で、練馬高校が統廃合にならずに済んでいるのは、全部に先駆けて大幅選択制にした影響が多分にあると思います。

今思えば、私のいた八年間は練馬高校の『激動の時代』だった気がします。

私が初めて担任を受け持った生徒たちは今頃どうしているかなあ。卓球部員たちとは今もOB会を行っています。先生方にはとてもお世話になりました。

私が現在勤務している小金井工業高等学校での任期も終わりに近づいています。また練高に戻れるかな？　お楽しみに！　では。

お便りコーナー

以下のお便りは2002年の総会出欠ハガキから拾ったものです。この他にも多数の方より心のこもったお便りを頂いておりますが、紙面の都合により掲載できないことをお許し下さい。敬称略。

（編集者一同）

▼当日、仕事（公開講座）があり失礼します。9月14日にテニス部のOB会が新宿で開かれました。4期～6期＋11期の顔ぶれでした。遠くは福岡、広島から参加の人も居て感激しました。昼間は女性のみ17名、夕方から場所を変えて男性も加わり楽しく懐かしい会でした。

教職員　渡辺

▼学校説明会のため残念ながら欠席いたします。元気でやっております。

教職員　和田

▼卒業生の皆さんの限りないご発展をお祈りします。

教職員　長谷川

▼病院通いをしていますが、趣味の尺八を吹き、英気を養っています。練馬高校は一番長く勤務した学校なので思い出も深いです。私の教室には、最初に担任したクラス（3年8組）の生徒から卒業式の日（昭和48年3月15日）に送られた石神井公園の風景画が飾ってあります。裏には「上原進君より」と書いてあります。彼が記念に書いてくれたものですね。当時の事が偲ばれて、感無量です。

教職員　須田

▼元気でやっています。盛会を祈ります。

教職員（久保）高田

▼田舎での野菜づくりや、詩吟、作詞の会、そして、専門学校の講師などをしております。

教職員　加島

▼山野散策を楽しんでいます。

教職員　石川

▼練馬高校は存続することに決まったそうで、大変よかったなぁと思っております。何と云っても天下の練馬高校なのですから「朝なり、たださす光に、校塔は輝き若き声上る」練馬高校生は現役もOBもこれからも大いに頑張りましょう。

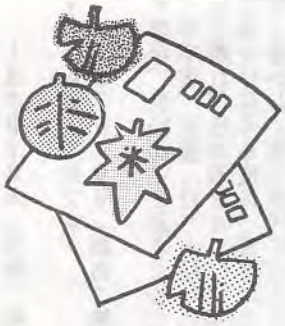
教職員　片岡

▼統廃合は何としても阻止したい。

教職員　内山

▼先約があり、失礼します。ご盛会をお祈りします。おかげさまでまずまず元気で過ごしています。

教職員　森



▼「会報9号」でなつかしい名前を拝見。私自身は1975・4～1980・3の五年間勤務。大学卒業して三年目、まだ20代の教師であった。78・3月卒業の諸君（何回生？）の担任の一人として色々問題を起こしつつも、楽しい時を過ごしました。その後組合の本部委員などもやり、80・4より都立日本橋高校へ、ここには一学期しか居ないで、80・9より現在の筑波にいきました。もう22年もいます。リストラ対象かもしれませんが気持ちだけは若々しくやっています。「教えるとは希望を語る事、学ぶとは誠実を胸にきざむこと」と今でも思っています。同窓会を維持する事は大変ですが粘り強く、「継続は力なり！！」

教職員　小林

▼定年まで後少し、最後の力を出しています。練馬高校は変わったと聞きますが、懐かしいです。

教職員　須賀

▼同窓会のご連絡ありがとうございます。銀杏会が年々隆盛におもむいていることを喜んでいます。城西大学でまだ教授・短大副学長でがんばっています。練高OBが多方面で活躍している事を嬉しく思っています。会の発展と皆さんのご多幸を祈っています。

教職員　青木

▼先約の行事があるので欠席致します。ご盛会を心から祈念申し上げます。

教職員　山口

▼名簿は作らないで欲しい。

教職員　佐々木

▼会報を毎回楽しみにしております。ありがとうございます。

1967109　上野

▼8月に35年振りに同期が集まりました。遠い過去の時間が甦る感じがしました。

1967152　吉原

▼古希を迎えられた、野口鐵郎先生を囲んで、42年卒の3年5組のクラス会が28人出席でおこなわれました。みんな、同じように年を取りました。

1967519　高野

▼入学した時、キャベツ畑の真ん中にたった新しい校舎でした。先日三十年ぶりに訪れた母校では、校章だけがそのままで、校舎も町もすっかり姿を変えていました。それでもそこに母校があるというのはうれしいものです。

1970320（斉藤）戸谷

お便りコーナー

▼会報を送って頂きありがとうございます。お便りコーナーP.6の私の書いた文が誤って加藤（森川）さんの文として載っています。同窓会の発展を願います。

1970403（稲垣）渋沢

▼いつも大変お世話様です。送って頂いた会報に誤りがありましたので連絡させて頂きます。（銀杏の朋第九号）お便りコーナー7ページのS53年度卒 伊藤（篠沢）春美は誤りで6ページのS46年度卒伊藤（篠沢）春美と文が正しい方です。P7（S53年度卒）の方は他の方と間違えていると思われますのでよろしくお願いします。

1971523（篠沢）伊藤

▼会報をいつもありがとうございます。娘の真央（15才）が今月9月28日よりロードショーの「17歳」（テアトル池袋・イメージフォーラム渋谷にて上映）に脇役ですが出演しています。見に行くのが楽しみで親バカをしています。

1972721（佐藤）米山

▼神戸に住んで早20年余。東京弁とも、神戸弁ともつかぬ言葉をしゃべり周りの苦笑を買っています。息子も大学二年となり京都で一人暮らし、娘も高2でそれぞれエンジョイしています。母もそれなりに飛んでおります。

1974537（原）鎌田

▼会報をいつもお送り頂き、ありがとうございます。なつかしく読ませて頂いております。総会には欠席させていただきますが御盛会をお祈りしております。

1975704（天野）松本

▼いつもご苦労様です。

1976103（飯田）勝田

▼昨年、勤続20年を迎えました。大学卒業、就職（社）と同時に練馬を離れ、時が過ぎました。同窓会報を拝見する度に、青春の3年間を懐かしく思う年代になりました。

1976230　玉鉾

▼役員の矢野君、吉田君ご苦労様です。11月10日、私が所属しています"朝霞市吹"の定期演奏会があり、総会に出席する事が出来ません。毎年同じ月に重なってしまうようで、いつも欠席して申し訳ありません。宜しかったら皆様！10日、1時30分～朝霞市民会館（朝霞駅10分）にての演奏会にいらしてください！（入場無料です）

1976319（袖山）高岡

▼東京を離れた者として、定期的に送ってくださる同窓会会報は、大変懐かしく嬉しいものです。プライベートでは、結婚生活に波乱があり、3人の子供達とは二ケ月に一度ほど会う生活です。長男は、（'03・2）大学受験です。

1977245　弓能家

▼ご連絡ありがとうございます。元気に暮らしています。皆様のご多幸をお祈りしています。

1977801（秋山）関谷

▼久しぶりに知人を誘って出かけてみようかと思いましたが、11月10日に、育成会の子供大会があり、11月9日は、他校の方々と共に準備をしなければなりません。所沢の第二ブロックの幹事校として忙しい日になりそうです。練高への事務局の皆様の思いが、うらやましく、それは私の育成会、子供会に対する物と同じなのかもしれないと思います。なつかしい先生のお名前を見つけると、あのころを思い出します。ありがとうございます。

1978629（高野）小野寺

▼昨年末結婚し、百瀬さと子になりました。現在仕事もやめて子育てに頑張っています。

1979109（氏家）百瀬

▼今回初めて、同窓会会報を送付くださりありがとうございました。記載の表現で一言のべさせて頂きます。○◎生という表記がありますが、自分が○◎生かわからない者も多くいると思いますので○○年度（○◎生）の方が分り易いのではないかと思います。今後ともよろしくお願いいたします。

1979138　藤野

▼ご苦労様です。大学時代を仙台で過ごし、一度東京に帰ってから10年前にまた離れました。昔の仲間とも年賀状のやり取りくらいになってしまいましたが、元気にやっています。

1979228　早船

▼会報いつもありがとうございます。やはり、懐かしいですね。

1979243（養田）佐藤

お便りコーナー

▼いつもお世話様です。年に一度の〝同窓会だより〟がくる早さに驚く毎日です。一年って本当に早いですネー。いつか参加できる日まで、役員の皆様よろしくお願いします。

1979615（木村）渡辺

▼いつもご苦労様です。小六と五歳の子育てと仕事にがんばっています。

1980342（横田）大高

▼毎回、懐かしく、わくわくしながら会報を隅まで読ませて頂いております。役員の皆様、お世話になります。私は現在、再び私なりに一生懸命に仕事を始めました。学生の頃から興味のあった事を活かして出版社でとびまわっています。今回の編集後記にありましたように私も「学生時代の読書が役に立っている」一人です。まだまだ勉強する事はいっぱいある今日この頃です。

1980407（池田）田口

▼いつも会報ありがとうございます。

19815530（寺下）中島

▼同級生だった主人（森川正人）と、結婚し、3人の娘に恵まれました。また、同級生の、安西孝博、道子（旧姓・武本）さんご夫婦や、お互いの友人達とは今だに家族ぐるみで交流があり、年に何回か、旅行とか、楽しんでいます。

19827225（関根）森川

▼海外永住のために会にはなかなか参加できませんが、同窓会をアクティブに保って頂ける事をとてもうれしく思っています。20年ほどたった今でも練高の友とはコンタクトをとりあっていますよ。

1983422（菅沼）レオン

▼『なにせうぞ、くすんで一期は、夢よただ狂へ（閑吟集）』卒業後17年が経ち、学生時代、懐かしい思いがします。役員の皆様、ご苦労様です。

1984105　江口

▼いつもご連絡ありがとうございます！！

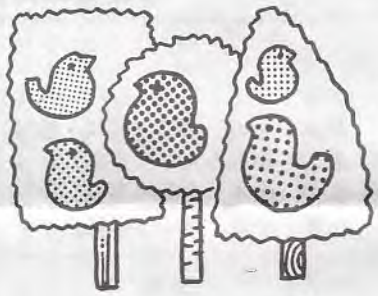
1985417（甲賀）野原

▼昨年、独立開業し夫婦力を合わせて頑張っています。

1987210（木村）庭山

▼いつもありがとうございます。

19873308（大山）竹内



▼当日は出席できませんがご盛会をお祈り申し上げます。

1987912　木村

▼会報を楽しく読ませていただいております。学校の方へは、もうしばらく伺っておりませんが、役員の皆様のおかげでこのように同窓会を行えるのはすばらしいことと思っております。またいつか出席できるようになりましたら嬉しいです。

1988737（山口）西沢

▼30年間生まれ育った貫井を離れ、下記に移転し現在育児に専念しているこの頃です。（一才八ヶ月女児）

1989542　法木

▼「練高存続！」安心しました。自分達の母校がなくなってしまうほど悲しい事はないですからね。力を合わせて見守りましょう。

1989712　鴨下

▼いつも会報をお送りいただきありがとうございます。

1991831　船津

▼高校統廃合計画の中、練高が存続できてよかったなぁと思います。私は新校舎ができたてのホヤホヤで三年生を過ごしましたが、あまり覚えがありません。今では、七歳の娘がいるので十年後の入学式でまた、母校をみれるかな？（娘が合格すれば…ですが…）

1991835（丸山）三木

▼永川台の方に引っ越し、男の子二人を育てています。

1997127（内藤）宮坂

▼平和台に出かけた帰りなど、学校の前を通ったりします。制服姿の女の子を見ると、「あ、練高だ」と、ふとした事で学校を思い出します。

1998542　田村

▼2003年3月頃シアター・イメージフォーラムに於いてイメージフォーラム付属映像研究所第二十六期生卒業制作展上映会、見に来て下さい。

20016 05　金城

同窓会担当より

練馬高校の現状

総務部　新井　純子（音楽科）

今年度の本校教職員の転出は6名でした。嘱託の中澤先生は、ご退職です。5名の皆さんは、それぞれ新しい職場でご活躍とうかがっております。それに代わり、新しく6名の方々が仲間に加わり、もうすっかり職場にも慣れて、力を発揮されています。（くわしくは、異動の一覧をご覧下さい。）今年は異動人数は少なめでしたが、（昨年度は12名。）来年度の異動より、教員の異動年限が短縮される（3年～6年）という話になってきており、そうなると今後は、卒業生が卒業後すぐに学校をたずねて来ても、知っている先生はほとんど残っていないという状態になるのではないかと憂慮しています。

さて、練馬高校の近況ですが、今年度は入試制度の改革や、新カリキュラムの実施により、多少の変化が起きています。まず、学区制度の徹廃により、生徒の通学区域が広がりました。新1年生は旧第3学区（練馬・中野・杉並）はもちろんですが、隣接の板橋・西東京・東久留米等から来る生徒も増えました。大江戸線との関係で、新宿・台東・墨田等の地域からも何名か来ており、通学区域の広域化は今後も進むと思われます。

新カリキュラムで出発した1年生も順調に学校生活を送っております。昨年までと違う点は、1年ではすべて必修授業とし、全員に基礎学力をつけてもらい、さらに総合学習の時間を進路指導とからめ、自分の進路についてのしっかりした意識を持ってもらうということです。そして2・3年でそれに合った選択科目をセットにして選択する形となりました。成果はすぐには出ませんが、生徒全員が進路についての自覚を持ち、自分に合った道を見つけ、希望の進路に進んでくれることを私たちも期待しています。

学校の雰囲気や生徒の風潮は近年、大きくは変わっておりません。真面目な生徒が落ち着いて授業・部活に専念できる学校環境であると思います。部活動の参加率も年々上がっているようで、少しずつですが、成績も残せるようになってきました。今年度は特に女子バスケット部の活躍がめざましく、東京都で1部に昇格し、全加盟校350校の中でベスト16というすばらしい成績をおさめました。他の部もそれぞれ一生懸命活動しております。卒業生の皆様も機会がありましたら、是非練馬高校に足をお運び下さり、現在の練馬高校を見ていただきたいと思っております。

教職員の異動について

【転出者】

教諭	浅尾　聡明（理科・物理）	都立大森高校（全日制）へ
教諭	柴田　昌幸（理科・地学）	都立上野高校（通信制）へ
教諭	相馬みえ子（家庭）	都立大山高校（全日制）へ
主事	山本　史郎（事務）	都立第一商業高校（全日制）へ
主事	小泉　桃子（事務）	都立園芸高校（全日制）へ

【退職者】

嘱託	中澤　正樹（音楽）	

【転入者】

教諭	橋本　道雄（理科・物理）	都立大泉高校（全日制）より
教諭	足立　久男（理科・地学）	都立忍岡高校（全日制）より
教諭	湯浅　敦子（家庭）	都立江東商業高校（全日制）より
教諭	三好　博子（英語）	
主任	伊藤　博人（事務）	生徒文化局より
主事	池田亜矢子（事務）	都立世田谷泉高校より

【長期派遣者】

教諭	幸田　諭昭（数学）	私立早稲田高校

会　計　報　告　書

次年度への繰越金内訳　(円)

巣鴨信用金庫	2,030,073
文京信用金庫（あさひ）	68,756
郵便局	2,546,662
現金	27,361
合計	4,672,852

2002年度決算報告書　(円)

収入の部		支出の部	
前年度より繰越金	4,921,449	会報発行費用等	1,131,949
入会金	704,085	総会費用	2,225
寄付金	216,350	HP費用	37,800
名簿売上分	70,620	運営費	29,271
利息	28	振込手数料 後納郵便局手数料 切手代等	35,935
		図書券代	2,500
		次年度への繰越金	4,672,852
合計	5,912,532	合計	5,912,532

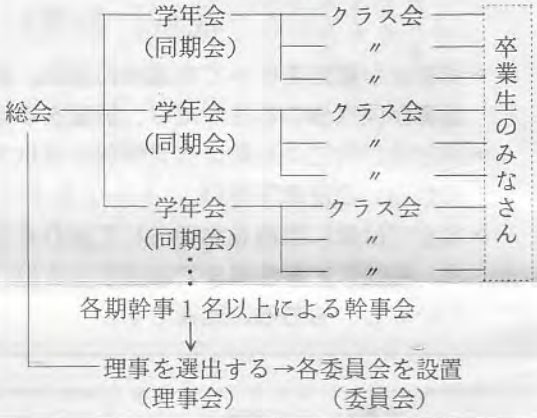
予　算　書　(円)

収入の部		支出の部	
前年度より繰越金	4,672,852	総会費用	50,000
入会金	700,000	運営費	30,000
総会収入	30,000	会報発行等	1,200,000
利息	200	雑費	30,000
名簿収入	80,000	HP費用	37,800
		次年度への繰越金	4,135,252
合計	5,483,052	合計	5,483,052

事務局より

①クラス会・同期会はどんどん自発的に開催してください。理事会ではクラス会・同期会の面倒までは見られません。
②クラス会・同期会のレポートをいただければ、会報にのせます。
③理事としてお手伝いしてくださる方、常時募集しています。ほんの少しの援助が大きな力になります。
④委員会
◎総会委員会
◎名簿委員会
◎会報委員会
◎組織委員会

同窓会組織図



事務局への連絡方法

新たに住所・連絡先が変更になりましたら、必ずご連絡ください。ただし、事務局（練馬高校内）には専従者がおりませんので、連絡はハガキまたは封書にてお願いします。電話での連絡はご遠慮ください。

連絡先：〒179-0074 練馬区春日町4-28-25 都立練馬高校同窓会事務局

名簿・総会・理事会への問い合わせ先

☆総会：総会委員　近藤邦夫　（Tel 0423-45-3022）
☆名簿：名簿委員　矢野正弘　〒179-0074 練馬区春日町5-7-9-2F（Eメール swallow@mtg.biglobe.ne.jp）
☆理事会への連絡先　三浦喜雄　〒272-0035 市川市新田3-27-15（Tel 047-379-5412）
☆問い合わせ全般　伊藤久雄　〒179-0074 練馬区春日町4-36-1（Eメール QWJ06463@nifty.com）

寄付金御芳名

卒年	クラス	姓名	旧姓
67	5	森下昭夫	
68	2	佐藤隆夫	
68	3	八尾正男	
68	2	小林勝	
68	2	青木美代子	
69	4	薬袋博	
69	6	三村光太郎	
70	4	高木純一	
71	7	羽根田裕子	
71	8	本橋寛二	
72	7	鶴田徹	
73	1	鹿島慶高	
73	2	高杉敬子	
73	4	藤城裕子	
73	8	大村正彦	
73	8	贄川雅男	
73	8	柳沼啓子	
73	8	高橋祥子	
74	74	斧田はるみ	
75	1	森川透	
75	8	上原正弘	
77	2	田部雅彦	
77	4	新井悟	
78	4	高井美智明	
78	6	外由美子	

卒年	クラス	姓名	旧姓
79	2	五関玲子	
79	6	高田幸男	
80	2	窪寺伸浩	
80	6	貫井和子	
83	4	勝山麻紀	
84	1	江口克英	
87	1	飯田彰夫	
99	3	茂田井明子	
職員		小林汎	
職員		沖山勝彦	
職員		須田弘	
職員		紫隆三	
職員		上原勉	
職員		青木一男	
職員		岩田義範	
職員		片岡康	
職員		石川文也	
職員		大間一男	
職員		高田俊治	
職員		渡辺義正	
職員		遠藤安郎	
職員		片山雅夫	
職員		板井哲夫	
職員		鈴木一正	
職員		川端春生	
職員		友山登紀子	
職員		岩崎祥二	
職員		津久井富造	

お願い・お知らせ

※同窓会が電話を使って卒業後の進路、勤務先、住所などを確認することはありません。業者が同窓会の名をかたり、調査をすることがありますのでご注意下さい。

※同窓会が特定の企業に会員情報を提供すること、まして会員を紹介することは一切ありません。ご注意下さい。

※本会では常に原稿をお待ちしております。高校時代の想い出、同期会報告、イベントなど、郵便にて事務局までお送り下さい。H.P. 上のアドレスへE-Mailにて送っていただいても、もちろん結構です。

編集後記

▼今年も同窓会会報を発行することができました。原稿を執筆された先生方、同窓生に感謝いたします。

会報の編集、発行作業はかなりの手間がかかります。作業の大半は、伊藤会長がされています。私は、会報編集作業のごく一部を担当しました。

会報発行には、同窓会費の多くが費やされています。現状では、入会金が他校の同窓会よりも少ないのです。会報発行が財源を圧迫しているので、将来的に会報発行が厳しいことを考えなくてはなりません。

このような課題を抱えていることを踏まえて、今回の会報をご覧になり、解決に向けご意見を頂きたいと思います。　**九回生　小澤直彦**

▼数ケ月前からアコギ（アコースティックギター）を弾き始めました。「神田川」・「あの素晴らしい愛をもう一度」・「空も飛べるはず」などを弾き語りして、一人で悦に入っています。

私にギターを教えてくれるのは現在の私の生徒、Yさん（三十七歳）です。彼は若い頃、網膜剥離を患い、高校を中退せざるをえませんでした。その後は入退院を繰り返し、工事現場で働いたり、人生に絶望して酒におぼれたりしていましたが、一念発起して私の勤める定時制高校に入学してきました。

そんな生徒に会えるのも定時制教育の醍醐味の一つです。

十一回生　伊藤久雄